

文化観光スポーツ部会 調査審議結果報告書（案）

沖縄21世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画)等 総点検報告書(素案)に対する意見(別紙1)

文化観光スポーツ部会(22件)

- No.10 スポーツアイランド沖縄の掲載(第2章)(P10)
- No.42 文化観光の推進(P18)
- No.73 空手ツーリズムの推進(P29)

離島過疎地域振興部会(35件)

- No.27 伝統芸能の後継者不足(P14)
- No.29 観光客増加による自然環境(P15)
- No.30 島々が持つ固有の事情に配慮した受入体制(P15)
- No.32 クルーズ船による地域社会への経済効果(P16)
- No.34 観光関連産業の人手不足(No16)

基盤整備部会(5件)

- No.4 空港整備の変遷について(P8)
- No.13 観光バスの駐車場対策(P10)
- No.37 長期滞在型のクルーズ船の誘致(P17)

学術・人づくり部会(2件)

- No.20 観光産業人材育成の取組(P12)
- No.21 県立芸術大学の就業に関する定義(P13)

農林水産振興部会(1件)

- No.67 観光客増加に対する離島の受入対策(P27)

産業振興部会(6件)

- No.1 小規模離島における消費額増加に向けた対策(P8)

総合部会(5件)

- No.38 成果指標の数値の更新(P18)
- No.39 全成果指標の掲載(P18)
- No.40 検証シートの判定基準に表現統一(P18)

合計76件

沖縄21世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画)等 総点検報告書(素案)に対する意見(別紙3)

文化観光スポーツ部会(47件)

【文化】(23件)

No.1 有形無形の文化財の質と量が観光訪問の選択で重要(P33)

No.13 しまくとぅばについて、具体的なアクション・指標が必要(P35)

No.17 県民も楽しめる参加型の空手イベントが必要(P36)

【交流】(2件)

No.1 ウチナーネットワークの数ではなく、アンデンティティやネットワークの強化が必要(P38)

No.2 海外修学旅行生との交流を通じた異文化体験が必要(P38)

【健康長寿・保健医療】(1件)

No.1 子どもたちを指導する指導者の育成が必要(P38)

【観光産業振興】(14件)

No.1 スポーツ実施率などインナー政策が必要(P39)

No.12 武道ツーリズムについて、全国的に注目されているので、空手ツーリズムの振興が必要(P41)

No.15 「空手関連産業」という表記の仕方を含めた検討が必要(P42)

【全分野】(7件)

No.2 沖縄振興の基本的な考え方の中にSDGsの視点や、第4次産業革命を産業の振興に生かす記載がある。ただ、IoTやAIの進展は、従来の海洋島嶼、米軍基地、人口減少と匹敵する社会変化だと言える。次の沖縄振興の方向性は、産業振興の視点だけでなく、教育にも福祉にも医療に生かす視点が必要(P45)

沖縄21世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画)等 総点検報告書(素案)に対する意見(別紙3)

離島過疎地域振興部会(7件)

【観光産業振興】(7件)

- No.18 離島毎にどのような観光が望ましいのかを考えるために、観光客数、観光収入など、島単位の実態把握が必要(P43)
- No.20 クルーズ船の増加についての総合的な分析や評価、寄港地周辺の経済効果と併せて良質な観光を確保する「観光管理」が必要(P43)
- No.21 離島で外国人の受入拡大は、適切な雇用契約、適正な受入機関ほか、生活・住宅・言葉のサポートが必要(P43)
- No.24 観光管理計画や観光地経営など、地域主体、離島主体の観光を支える人材育成が重要(P44)

産業振興部会(1件)

【観光産業振興】(1件)

- No.25 キャッシュレスの対応に加え、セキュリティーの強化が必要(P44)

学術・人づくり部会(3件)

【観光産業振興】(1件)

- No.26 基地内大学の学生に対する人材育成の取組が必要(P45)

重要性を増した課題及び新たに生じた課題（別紙2）

文化

【重要性を増した課題】

（内容）

①しまくとぅばの普及について

（問題）

「しまくとぅば」普及計画に基づき、様々な取組を行っているが、しまくとぅばを挨拶程度以上話す人の割合は伸び悩んでいる。

（課題）

しまくとぅばを聞く機会や話す機会を増やすなど、関係機関と連携し、保存・普及・継承に向けた取組が必要である。

健康長寿・保健医療

【重要性を増した課題】

（内容）

①スポーツ実施率について

（問題）

20代から40代の若い世代のスポーツ実施率が低く、また、運動をする人と全くしない人の二極化が進んでいる状況にある。

（課題）

総合型地域スポーツクラブをはじめとした地域スポーツ環境を充実させ、県民の運動・スポーツをする機会創出を図り、生涯スポーツ社会を実現していくことが必要である。

重要性を増した課題及び新たに生じた課題（別紙2）

交流

【重要性を増した課題】

（内容）

①ウチナーネットワーク数ではなく、アンデンティティやネットワークの強化について

（問題）

国際交流の推進については、海外在住の県系人の世代交代が進む中、若者の県人会活動等への参加が減少傾向にあるなど、ウチナーンチュとしての意識、アイデンティティの低下が懸念されている。

（課題）

ウチナーネットワークを担う次世代育成のための各事業間の連携を進め、若い世代へのアプローチを図る必要がある。

観光産業振興

【重要性を増した課題】

（内容）

①空手ツーリズムの振興について

（問題）

武道ツーリズムが全国的に注目されているが、専門ガイドの育成や体験プログラムの充実などの空手ツーリズムについて振興が遅れている。

（課題）

空手ツーリズムの振興を図る必要がある。

重要性を増した課題及び新たに生じた課題（別紙2）

観光産業振興

【新たに生じた課題】

（内容）

①島単位の実態把握について

（問題）

離島毎にどのような観光が望ましいのかを考えるために、観光客数、観光収入など、島単位で実態が把握が求められている。

（課題）

離島毎にどのような観光が望ましいのかを考えていくため、観光客数、観光収入など、島単位で実態を把握する必要がある。

観光産業振興

【新たに生じた課題】

（内容）

②クルーズ船寄港における良質な観光を確保する「観光管理」について

（問題）

クルーズ船の増加についての総合的な分析や評価、寄港地周辺の経済効果と併せて、良質な観光を確保する「観光管理」が求められている。

（課題）

クルーズ船の増加についての総合的な分析や評価、寄港地周辺の経済効果と併せて、良質な観光を確保する「観光管理」を図る必要がある。

重要性を増した課題及び新たに生じた課題（別紙2）

観光産業振興

【新たに生じた課題】

（内容）

③入域観光客数の増加により生じる諸問題への対応について

（問題）

一部地域では入域観光客数の増加による自然環境への負荷の増大や地域コミュニティへの影響などが懸念されているため、経済や社会、環境への影響に十分配慮した持続可能な観光地づくりを推進する必要がある。

（課題）

県民生活や自然環境に影響が生じる諸問題については、市町村や観光協会等から情報を収集するとともに、沖縄観光の現状を示す観光統計の強化等を通じて、課題を整理した上で地域と連携を図りつつ、対応を検討する必要がある。